

宋玉公集

第八卷

新潮社

室生犀星全集 第八卷

昭和四十二年五月十日發行
昭和五十一年八月三十日セット版

著者 室生犀星

發行者 佐藤亮一

印刷所 二光印刷株式會社

發行所 株式會社 新潮社

〒162 東京都新宿區矢來町七一
電話 東京03(二六六)五一一一(業務)
振替 東京 四一八〇八

(全十四冊セット) 定價 四九、〇〇〇圓

亂丁・落丁本は、御面倒ですが小社通信係宛御送付
下さい。沿革小社販賣にてお取替へいたします。

室生犀星全集

第八卷

題字

編纂

西

奥 福 伊 鍋 中 三

川

野 永 藤 川 野 好

健 武 信 鶴 重 達

寧

男 彥 吉 郎 治 治

第八卷

目次

詩・和歌・俳句

〈美以久佐〉(抄)

よもすがら……………[五]
生きのびし人……………[五]
静か居……………[六]
野に記されたもの……………[六]

野のものの歌……………[七]
生ける鮎……………[六]
乏しき炭火……………[六]

〈いにしへ〉(抄)

魚……………[九]
み寺……………[九]

| | | |
|-------|----|--------|
| 杏 | 杏 | 帆 |
| 過失 | 失 | 朝燒 |
| 赤ん坊 | 赤 | 白砂 |
| 杏なる庭 | 庭 | 人と人 |
| 夕餉 | 夕 | 釣人 |
| 良い心 | 心 | 人あれ |
| 小石 | 石 | 茶店 |
| 城あと | 城 | 那珂川 |
| 魚 | 魚 | この人を見よ |
| なみなみ | なみ | 公園 |
| 誰とともに | とも | 噴水 |
| 四十路 | 四十 | 歸去來 |
| 笛吹くひと | 笛 | 人 |
| ともしひ | も | |

「日本美論」(抄)

| | | | |
|------------|----|------|----|
| 深山 | 六 | 片翼 | 三 |
| 證人 | 元 | 禮儀 | 六 |
| 遠い旅 | 元 | 疊 | 六 |
| 破顔一笑 | 三〇 | たびびと | 二 |
| ペンと剣 | 三一 | 波は白く | 二七 |
| 花 | 三一 | 疊や | 六 |
| 明日になつて見ないと | 三二 | 耳 | 元 |
| 雀 | 三一 | 年輪 | 三 |
| 人は晩に | 三一 | べつの母 | 四〇 |
| 歴史 | 三一 | 木 | 四 |
| 傾く家 | 三四 | 庭 | 四 |
| 隣史 | 三四 | 若木 | 四 |

〈山ざと集〉(抄)

自嘲.....四二

〈魚眠洞發句集〉

序文.....三
新年.....四
春.....五
夏.....六
冬.....七
秋.....八
晝.....九
夜.....十

〈犀星發句集〉

序.....一
歲首.....二

三 春.....
瓜 時.....
夏.....
秋.....
冬.....

九 冬.....
暮 收.....
充.....
充.....

〈十 返 花〉 (抄)

發 句(四句).....
二
和 歌(十六首).....
三

〈犀星發句集〉 (抄)

新 年.....
春.....
夏.....
秋.....
冬.....
金.....
二

〈遠野集〉(抄)

春……………
夏……………
秋……………
冬……………

小說

泥雀の歌
木洩日
竈馬寺前
廢家
蟲寺抄
山彦

隨筆・評論

- 壕の中 三四
遠つ江 三九
えにしあらば 一八
萩の帖 五五
山吹 四六

- * (『筑紫日記』より)
文士街の裏通り 四七
「暖夏」 四九
詩歌小説 五〇
* (『殘雪』より)
藤村先生 五一
秋聲先生 五七

後記

* (『信濃の歌』より)

文學の外側……………
卷八

立原道造を哭す……………
卷三
小説家といふ人間……………
卷五
自作の映畫化……………
卷六

戰爭の五年間……………
中野重治
解題・校訂……………
伊藤信吉
卷七
卷九

詩 · 和歌 · 俳句

